市政ニュース

十二月定例市議会

議会の開会にあたり、市長は十月から十二月までの市政の経過と現状を次のように報告しました。

◇　◇　◇　◇

十二月十日、国土庁から県知事に正式協議の通知がされ、第一次指定がほぼ決定的になりました。

第一次指定を目指して

地方拠点都市の地域指定については、現在、県と五省庁の合同協議が進められており、年内には決定される見通しです。

これに先立ち、対象地域のエリアについて県からの助言を受け南国・香美地方拠点都市地域指定推進協議会総会の議決を得て、高知市を含めた「なんごく・こうち地方拠点都市地域指定推進協議会」に改組しました。

県および関係市町村と共に、第一次指定を目指して不退転の決意で取り組んでいます。

まちづくりに着手

後免町の市街地再開発事業は、地域を八ブロックに分けて、小集会を精力的に実施、現在それをまとめ中です。本年中をめどとして地元準備組合設立ができるよう同意書の取りまとめを精力的に進めています。

浦戸湾東部流域関連の公共下水道は、四月一日より一部供用開始しました。処理区域内の対象件数四二五件のうち、一年目の目標として一二九件、三〇％の水洗化計画を立て、現在五七件、四四％の達成率です。

住居表示整備事業は、西野田地区の原案を作成し、地元関係者の理解と協力を得て、平成五年二月一日実施に向け作業を進めています。

小集落地区改良事業は、事業の完了を目指して努力を重ねてきましたが、仕事量の多い夏期の天候不順などが原因で、一部で年度内の完了が困難となっています。

渚を憩いの場に

黒潮と太陽の国・高知のイメージのもとに建設省の事業として「まほろばのなぎさリフレッシュ事業」が進められています。

十月、建設省と県・市、商工会、漁協など関係団体で協議会が設立され、十一月二十七日には起工式が行われました。

海浜レクリエーションゾーンとして観光や住民の憩いの場として期待されます。

高知カシオの新工場は、七月二十九日の着工以来、順調に工事が進んでおり、平成五年七月末日完成予定です。

南国ハイテクパークは、引き続き用地買収を積極的に進めており、「高知ソフトウェアセンター」の建設に向けて努力していきます。

先に、県から提示を受けております物流拠点整備事業は、浜改田と十市ゾーンについて、基本設計の青写真ができ、地権者の方々に第二回目の説明会に入っています。

これからの農業は

高知空港の耳疾騒問題については、地権者対策、営農対策が最優先されるべきものと受け止め、国・県・市で協議を重ねますと共に地権者などとその対応策に努めてきました。

ほ場整備については、農地のかい廃の著しい、田村、大埇、片山、里改田、浜改田、前浜などの地区を対象に、積極的かつ重点的に実施すべき地域と位置付け、年次的に推進していきたいと考えています。

事業の推進には、県営事業として県の全面的、積極的な対応がなければ困難ですから強力な要請をしていきます。

ほ場整備の進捗状況については、岩付地区は、施行区域を決めるべく同意調整を行っています。耕作権による費用負担、点在する墓地などの問題を調査、研究中です。

西野々地区は、換地配分まで進んでおり、換地計画の原案を作成中です。

久礼田地区は、九月十七日、久礼田地域振興研究協議会が設立され、ほ場整備と集落排水の推進委員会を設置して推進していくことになりました。

ほ場整備事業は、地権者、耕作者の理解と合意がなければ推進できませんので、引き続き広報誌などによるPRに努めます。

農協合併については、昭和六十三年三月、市内五農協による協議会が発足して以来、百回を越える研究、協議が重ねられてきました。

平成六年四月一日発足（園芸部は同年九月一日）を目指して、十一月末から各農協による集落座談会が開催されています。

保健

し尿・ゴミは

し尿処理施設整備事業については、関係者の理解を得ながら、平成五年度事業として準備を進めています。

合併浄化槽事業は、市民の理解を得て平成四年度分は事業完了しました。

また、円滑な廃棄物の処理、地域の環境保全のため、日常のパトロールと共に早朝パトロールを重点的に実施して、ごみの減量・分別、ステーションの美観保持などに取り組んでいます。

高齢者のニーズ調査

老人保健福祉計画については、計画策定の基礎となる高齢者ニーズ調査の回収が終わりました。今後、集計・分析を行うと共に他の資料、情報を収集していきます。

また、市老人保健福祉計画策定委員会を設置しましたので、素案作成のため精力的に取り組んでいきたいと考えています。

十月二十四日、健康づくり事業として「明るい家庭は、まず健康・考えよう健康について」をキャッチフレーズに第四回健康づくり講演会を実施するとともに、健康福祉機器展、リハビリ教室の方々の作品展、健康管理のコンピュータードック、体脂肪検診なども実施し、多くの市民が参加しました。

生涯学習の基本構想

生涯教育については、南国市生涯学習推進会議で、平成元年度・三年度に実施された「南国市における生涯学習に関する意識調査」の結果を踏まえながら、南国市における生涯学習基本構想を示すことになりました。十月の全体会議で最終審議をし、推進本部会議に報告、このたび、「南国市生涯学習基本構想について」にまとめました。

十一月二十二日の生涯学習フェスティバルでは、週休二日制社会を迎えるための「二十一世紀の主役を、どう育てるか」をテーマにしたシンポジウム、「これからの家族と地域のふれあい」の記念講演を行いました。年ごとに好評で、市民の学習意欲がますます高まってきています。

受けてみませんか！

～子宮がん・乳がん検診～

子宮がんと乳がんは早期に発見し治療すれば、ほとんどの方が治ります。しかし、この段階ではほとんど自覚症状がないため、発見するためには定期的に検診を受けることが必要です。

子宮がん検診

30歳以上の方を対象に次の通り市内の産婦人科で子宮がん検診を行います。

◆とき
　○2月16日(火)・17日(水)・18日(木)
◆ところ　なんごく産婦人科
　　曽根産婦人科
◆検診料　子宮頸がん　700円
　　体がん　500円
◆受付時間　午後　1時30分、2時、2時30分
　　3時、3時30分

乳がん検診

30歳以上の方を対象に次の通り乳がん検診を行います。

◆とき、ところ
　○2月8日(月)　南国市役所
◆検診料　100円
◆受付時間　9時20分、10時、10時30分、11時

30歳を過ぎたら1年に1度は検診を受けましょう！

「この年でがんになることはないだろう」と考えている人はいませんか？

70歳を過ぎても子宮がんはかなりあり、しかも50歳以下に比べて進行したがんが発見されることが多いので、年齢にこだわらず受診しましょう。

また、乳がんは、自分で発見することができるがんです。定期検診とあわせて、毎月生理の終わった日から数えて一週間目や、閉経した人は毎月忘れにくい日を決めて、しこりができていないかどうか調べましょう。